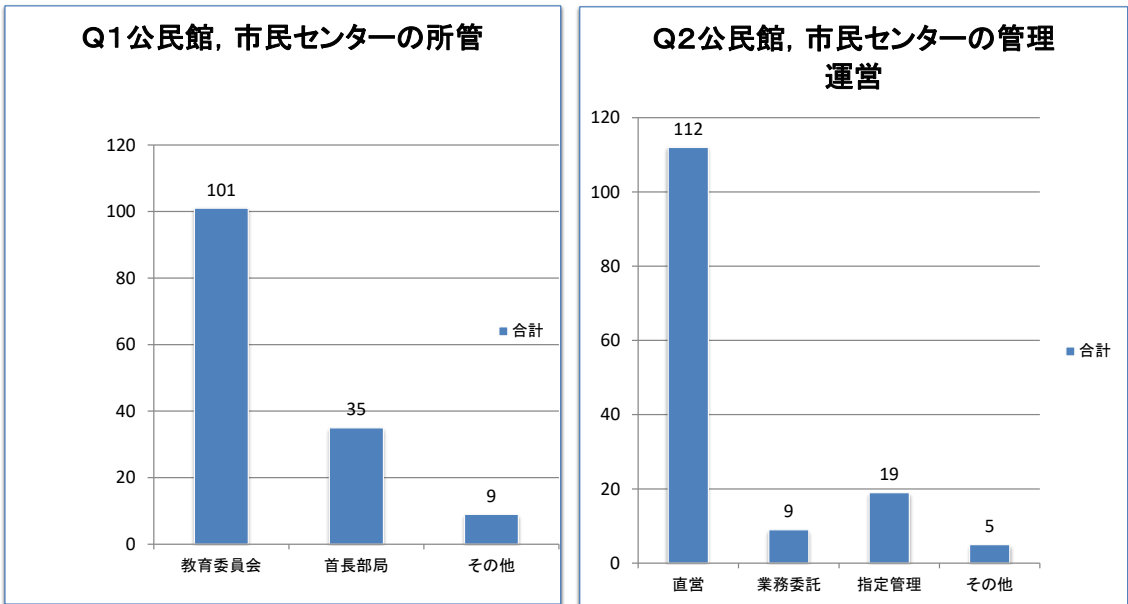


# 平成30年度「調査研究, 学習プログラム開発事業」アンケート調査集計結果

## 1 公民館・市民センター等の活性化のための支援プログラムの開発と普及策について

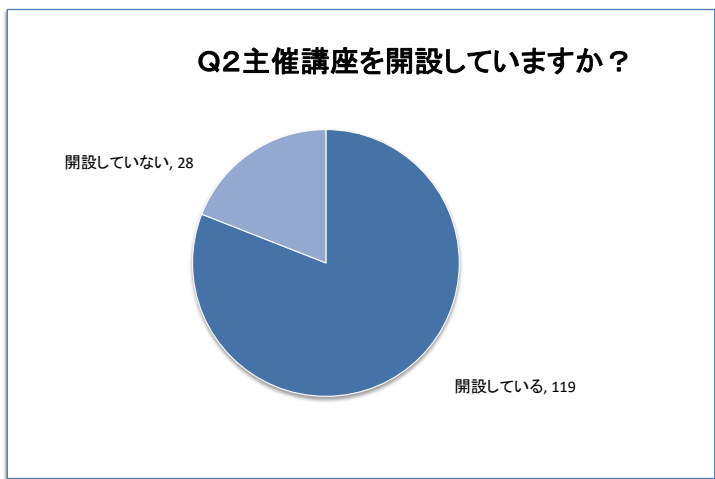
(公民館・市民センター等職員の資質向上)

### Q1 所管, 管理運営について



所管, 管理運営については, 教育委員会が68%, 首長部局が24%という結果になった。しかし, 同一市町村内で教育委員会と首長部局に割れた箇所も存在した。

### Q2 主催講座を開設していますか？



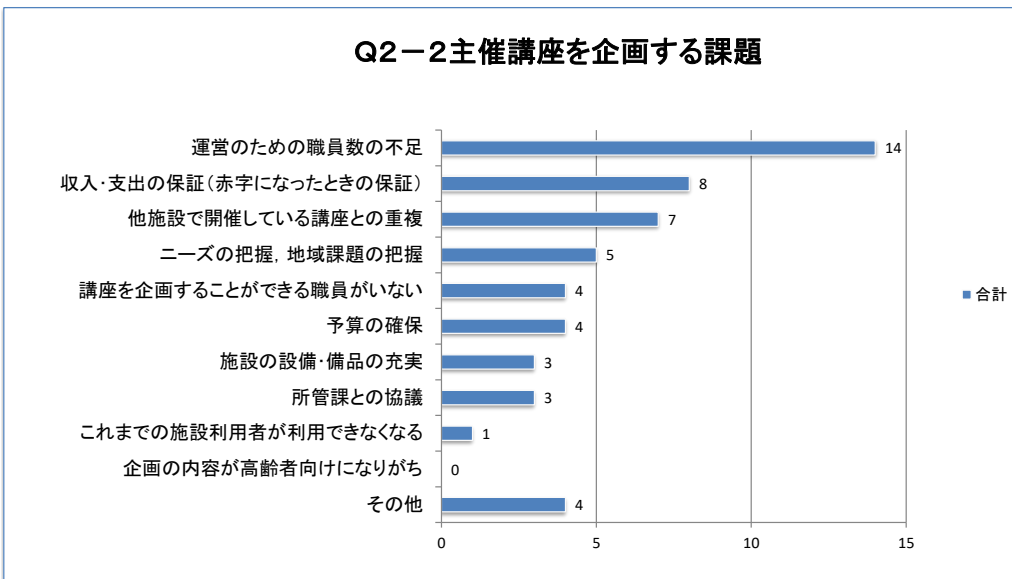
主催講座の実施については, 実施しているが81%を占めており, 所管にはかかわらず, 講座を企画して実施している箇所が多いことがわかる。

#### Q2-1 Q2で「開設している」と答えた施設において, 他の施設に紹介したい・お勧めしたい講座の内容

講座を開設している119施設の中から, 他施設に紹介したい・お勧めしたい講座については, 113施設から204講座の記述があった。対象者についても小学生から高齢者まで様々であった。

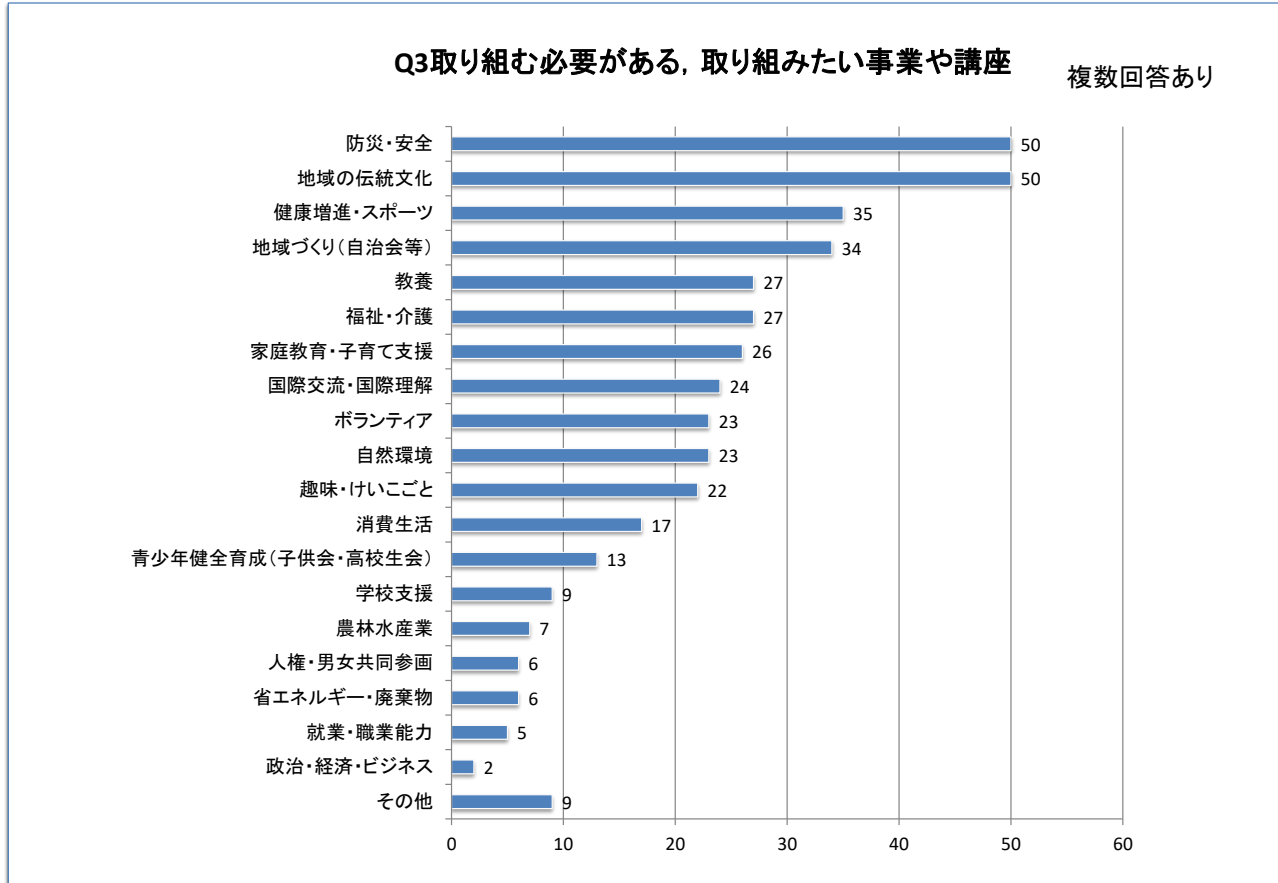
地域の実態によって, 求められる対象や内容は違うが, 他施設の取り組みを紹介できる講座のデータベースを検討したい。

### Q2-2 主催講座を企画することになった場合の課題



講座企画時の課題であるが、職員数不足や収支の問題、他で開催している講座との重複が上位を占めた。

### Q3 取り組む必要がある, 取り組みたい事業や講座



今後取り組む必要がある, 取り組みたい講座については、「防災・安全」、「地域の伝統文化の継承」が上位を占めた。

1-Q4 あなたの施設で講座企画を行っていく際に、企画担当者にとってこれからさらに身に付けておく必要があると考える知識や能力等、下記の項目についてご記入ください。また、その理由もご記入ください。

### 情報収集力として

必要であると考えられる知識や能力	その理由
・ 市民のニーズを捉える能力	・ 集客力のある講座を企画する際に、ニーズに合ったものが必要であり、他市町村の成功例を参考とすることで、魅力ある講座の企画につながるため
・ 講師の情報や他市町村の事例を収集する力	
・ インターネットを利用した情報収集能力	・ 他の市町村が行っている事業についての情報を得るためには、検索の仕方など工夫する必要があるため
・ 地域の要求や現代的課題を認識する力	・ 的確なニーズの把握、効果的な情報発信を行うため
・ 地域住民とのコミュニケーション能力	・ 生涯学習機関として、現代社会の課題と地域住民の求めるものを察知する能力が必要となるため
・ 人々の興味やニーズ、解決課題等を聞き出す柔軟なコミュニケーション能力	・ 受講生のニーズ、時世にあった講座を開催するため
・ 他自治体や他業種、市民などさまざまな人との繋がりをつくる能力	・ 国の方針や制度の概要、他自治体の動きや世論の動向等を把握するため
・ 地域の生活スタイルや住民性を知る力	・ 初対面の方とも関わりをもち情報収集をするため
・ 他の公民館や市民センターのアンケート調査の結果や内容の共有	・ 利用者の生の声が聞けるアンケートは有効であるが、本音を聞き出すのが難しい。他ではどのようなアンケートをしているのか知りたいため
・ 講師を捜すための情報収集力	・ 市街地から遠く、交通の便も悪いので、なかなか講師が見つからないため
・ 情報技術力、情報分析力	・ 事務処理能力の向上を図るため、多くの情報を収集しても読み解く力がなければ情報を活かすことができないため
・ 他市の市報や生涯学習センターのチラシ等を見ること	・ 広く目を向けないと情報がわからず企画力も思いつかないため
・ 施設間交流、事例発表の機会をつくること	・ 漠然とした企画があっても実践までのノウハウがないと不安になるため
・ 来館者との関係を深めておくこと	・ 身近な情報を手に入れることが地域に貢献できるため

・ 情報収集力については、他地域の事例得るため、または自分たちの情報を発信するためにインターネットを活用することが必要であると考えている。他にも、地域のニーズの把握のために、人との直接の繋がりや大切にするなど、地域住民などとコミュニケーションを図ることも必要であるという意見があった。

## 企画力として

必要であると考え知識や能力	その理由
・集めた情報を活用する能力, アイディアを整理する能力	・必要となった情報を上手に活かすことでターゲットを絞り込むことができるため
・時代や地域にあったニーズの把握の仕方及び企画の仕方	・講座の内容が偏ることなくニーズに合ったものを企画できるようにしたいため
・講座企画に関する研修会に積極的に参加	・新しい講座を開催していく力をつけるため
・発想力の向上, 柔軟な発想	・アイディアを形にするため マンネリ化を防ぐため
・市民の集まる講座の企画と講師の情報	・講座の企画について講師の選定が困難なため
・支持を得られなかった講座の事例報告	・人を集めるために考えた企画なのに, 人が集まらなかったため
・地域の方々のニーズを収集する能力	・ニーズがないものはいくらやっても人が集まらないため
・対象者別の生活リズムや求めている情報, スキルの分析	・対象を絞って講座を企画しようとする際には, 対象が必要としていることを知っている必要があるとともに, 適切な時間設定をするために生活リズムを把握する必要があると感じたため
・連絡調整能力	・個人や単一団体での活動では限界があるから
・ストーリーを自分の中でどこまで描けるがということ。講座の始まりよりも, 講座受講後にどうなってほしいか出口を考える必要	・担当者の強い思いがなくては実現できないため
・地域特性を生かした地域住民と連携した事業の展開	・変化の激しい社会において公民館として求められる活動・取組を行うため
・シナリオデザイン力	・解決策を導き出し, ユーザー目線で考える必要があるため
・住民ニーズや時代の要請等, それらの情報を元に問題点を把握し, その解決のための効果的で実現のある方策を見だし, 具体化する能力	・企画書の必須条件①相手のにとってわかりやすいこと ②魅力的であること③説得力があること

・企画力の向上に向けては, マンネリ化を防ぎ, 柔軟な発想力をつけるために, また, 他の市町村の事例を聞く機会として, 研修会への参加が挙げられていた。また, 講座を企画する際に受講後の活動について(出口を示す)考えた講座企画の必要性についての意見もあった。